

著書、学術論文等の名称		単著 共著 の別	発行又は発表 の年月	発行所、発表雑誌 等又は発表学会等 の名称	概 要
1	(学術論文) 先輩－後輩関係から学ぶピアラー ニングの思考過程－援助的関係をつ くるコミュニケーションスキルの 教育実践を通して－	共著	2021 年	日本看護学教育学 会誌 31 巻 2 号	看護学の初学者である 1 年生が援助的関係をど のように意識し行動していくのか、ピアラーニング の思考過程を明らかにした。ピアラーニングに よって自己を捉えなおす省察能力が育まれ、 看護職に必要な行動様式の共有へ繋がってい く思考過程が明らかになった。思考過程の中 で自己変容に対する主体的な意思を生み出し ていた。 (二井矢清香, 鍵浦文子, 杉野美和, 岡本亜 耶子, 三味祥子) (共同研究につき本人担当部分抽出不可能)
2	(学術論文) 異学年協同学習におけるピアサポ ーターの学習効果－教える経験か ら自ら学ぶ力を育む－	共著	2021 年	広島国際大学看護 学ジャーナル第 18 巻 1 号	先輩－後輩関係という異学年による協同学習に おいて、2 年生がピアサポーターとして 1 年生に 教える経験を通して獲得した指導能力とピアサ ポーターを体験することで得られた成果を明らか にした。(三味祥子, 岡本亜耶子, 鍵浦文子, 二井矢清香) (共同研究につき本人担当部分抽出不可能)
3	(学術論文) 看護大学 1 年生が臨地実習前・後で 思考した援助的関係－John Dewey の教育理論を視点とした考察－	共著	2024	広島国際大学看護 学ジャーナル第 21 巻 1 号	Dewey の教育理論を通して、看護大学 1 年生が 思考した援助的関係を明らかにした。学生は、 援助的関係という言葉のひとつのイメージで捉え るのではなく、経験を通していろんな角度から意 味を俯瞰し、援助的関係を理解していた。 (岡本亜耶子, 二井矢清香, 鍵浦文子, 三味祥 子,)
4	(学会発表) 基礎看護学実習前・後に 1 年次生が捉えた援助的関係 の思考の変化	共著	2020 年	第 40 回日本看護科 学学会学術集会	看護大学 1 年次生が援助的関係をどのように 理解していくのか、実習前と実習後のレポート から、学生の思考の変化を明らかにすること を目的とした。患者への関心に基づく経験 や自己を振り返る経験が、援助的関係を捉え る思考に変化をもたらすことが明らかになっ た。(岡本亜耶子, 二井矢清香, 鍵浦文子, 杉 野美和, 三味祥子) (共同研究につき本人担当部分抽出不可能)
5	(学会発表) Changes in thinking about the supporting relationship captured by first-year students of Nursing Colleges in Japan: Report analysis before and after the practice from the viewpoint of communication theory of J. Dewey	共著	2021 年	ICN2021 Virtual	日本の看護基礎教育では、援助的関係に関す るカリキュラムが講義、演習、実習という一 連の過程で構成されている。この学習過程を 通して、1 年生が援助的関係をどのように理 解していくのか、その思考の変化を J. Dewey のコミュニケーション論を視点として明らか にした。 Okamoto, A., Niiya, K., Kagiura, F., & Sanmi, S.
6	(その他) 先輩－後輩関係から学ぶピアラー ニングの教育実践②－1 年生の教育 効果－	共著	2021 年	メディカ出版ラポー ルコミュニティ	援助的関係をつくるコミュニケーションスキルの 授業に導入している、先輩－後輩関係から学ぶ ピアラーニングについて、1 年生の教育効果を報 告した。 2021 年 5 月 21 日掲載 (岡本亜耶子, 二井矢 清香, 鍵浦文子, 三味祥子)

所属・氏名 (看護学部 看護学科 氏名：岡本亜耶子)

令和 7 年 4 月 18 日 現在